

イオングループの「基本理念」

ジャスコ創立20周年の1989年に、それまでの「ジャスコグループ」の名称を「イオングループ」に改めて以来、グループはジャスコを中核として、以下の基本理念を共有しつつ、互いに自主独立した存在として尊重する「ゆるやかな連帯」を推進している。

原点は「お客さま」

人々の暮らしに根づいた事業および企業グループづくりを進めるイオングループにとって、「お客さま」は絶対的な原点である。即ち、お客さまへの限りない貢献はわれわれの永遠の使命であり、その徹底がイオングループの発展と繁栄に通じる唯一の道であると確信している。

基本理念は「平和」「人間」「地域」

「お客さま」を原点におき、「平和」「人間」「地域」という三つの基本理念を通じて、「平和

産業」「人間産業」「地域産業」であることが、イオングループの社会に対する存在意義と考えている。

- 平和 イオングループは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団である。
- 人間 イオングループは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団である。
- 地域 イオングループは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団である。

コーポレートシチズンシップ

イオングループは、「良き地球市民」の使命としてショッピングセンター内の大規模植樹、廃棄物リサイクルなど環境マネジメントを推進している。さらに「イオングループ1%クラブ」や「イオングループ環境財団」を中心に、多彩な環境保全・社会貢献活動を行なっている。

●イオングループ1%クラブ（89年設立）

グループ優良企業各社の税引き前利益の1%を充当し、「環境保全」や「国際的な文化・人材交流」「地域の文化・社会の振興」などの活動を展開している。

●イオングループ環境財団（91年設立）

環境NGOへの助成をはじめ、国際的な環境保全会議の開催、植樹・植林などグローバルな視点でさまざまな環境保全活動を展開している。本年は「万里の長城・森の再生プロジェクト」を新たにスタートした。

グループ価値概念図

